

第4章 景観まちづくりの目標・基本方針

第4章 景観まちづくりの目標・基本方針

4 - 1 景観まちづくりの基本理念・目標

本市総合計画が掲げるまちづくりの基本理念や将来像に、景観法や山口県景観ビジョンの基本理念等を加味することによって、景観まちづくりに求められる方向性を明らかにし、これを踏まえ、本市らしい景観まちづくりを進めるうえでの基本理念や目標を次のように定めます。

(1) 景観まちづくりの基本理念

**自然と歴史と人が織りなす交流都市の
魅力ある景観まちづくり**

合併により誕生した新しい下関市は、まちづくりの基本理念を「自然と歴史と人が織りなす交流都市」と掲げ、人と人、人と自然、人と歴史のつながりを大切にしながら新たなまちを共に創りあげていこうとしています。

こうした中で、下関市がこれまでに培ってきた、歴史ある都市美や、関門海峡や美しく長い山陰海岸、農山漁村風景などの魅力ある景観と豊かな自然環境を市民共通の資産として見つめ直し、それらのかげがえのない景観を人とのつながり（生活、活動、交流）の中で守り、創り、そして育む景観まちづくりを推進します。

(2) 景観まちづくりの目標

上記の基本理念を基に総合的な景観形成を進めるため、本市の総合計画が掲げるまちづくりの方向性や市の景観形成上の課題等を踏まえたうえで、次のような景観まちづくりの目標を掲げ、景観まちづくりを推進します。

市民と事業者、行政の協働による景観まちづくり

まちづくりの担い手は市民一人ひとりであり、本市では、地域を支える人と人とのつながりを大切に、市民・事業者・行政の協働による元気なまちづくりを進めています。

景観まちづくりにおいても、地域の個性的なまちづくりを進めるため、市民や事業者の参加意識の高揚を図りながら、市民活動などとも連携した多様な主体のパートナーシップによる景観まちづくりを推進します。

下関市を包み込む豊かな自然を育む景観まちづくり

【自然景観】

下関市は、関門海峡や美しく長い山陰海岸、穏やかな山々、河川、湖などの水辺など、豊かな自然環境に恵まれています。

本市の景観まちづくりにおいても、これらの地域の恵まれた自然環境を保全し、観光や交流の場として活用することが求められています。

そのため、景観まちづくりを通じて、これらの地域を特徴づけ、下関市を包み込む豊かな自然環境を、人々と自然との関わりの中でより豊かに育み、守っていくとともに、人々の交流が生まれる観光やレクリエーション、また市民生活の憩いや癒しの場として活用していきます。

地域固有の歴史を見つめ、郷土を愛する心を育てる景観まちづくり

【歴史景観】

古くからその歴史を紡いできた下関市には、数多くの歴史的・文化的資源が残されており、これらが多くの観光客を集める本市の魅力の一つとなっています。

本市の景観まちづくりにおいても、これまでに培ってきた地域固有の歴史や文化を保全し、観光交流の魅力として活用していくことが求められています。

そのため、これらの貴重な景観資源を市民が十分に認識し、資源の保全や活用を通じて郷土愛を育めるような、心豊かな景観まちづくりを進めていきます。

次代の先駆けとなる美しく活力ある海峡都市の景観まちづくり

【都市・まち景観】

下関市は、関門海峡に抱かれた恵まれた自然環境の中で、幕末には全国に先駆け「維新」発祥の地となるなど、近代化の歩みの中で高次都市機能を集積させ、海峡都市としての発展を遂げてきました。

また、少子高齢化等により定住人口の飛躍的な増加が期待できない昨今では、地域の新たな活気を生み出すため、観光都市として交流人口の拡大を図ることが求められています。

そのため、本市の都市景観においては、海峡都市・観光都市としての個性化を図るとともに、美しく、魅力的な景観を創造することによって、経済活動や観光振興など、まちの活力増進に寄与する景観まちづくりを進めていきます。

良好な生活環境の中で、ふるさとの魅力を発信できる景観まちづくり

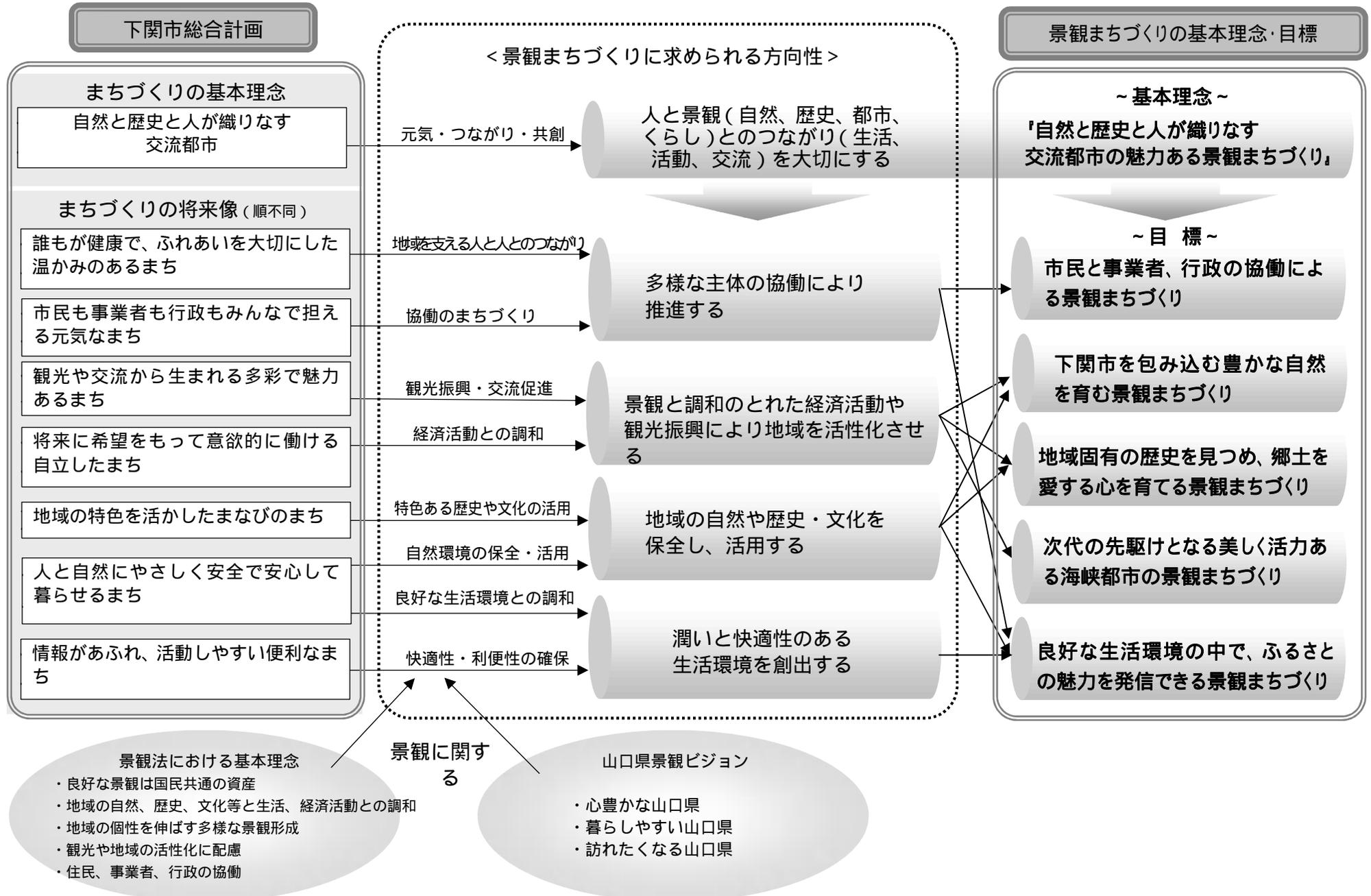
【くらし・文化景観】

市内各地には、地域の特色ある歴史や風土の中で培われてきた伝統的行事や農業・漁業の文化が感じられる農山漁村景観など、その地域の日々の暮らしや文化が感じられる景観が数多く残っています。

本市の景観まちづくりにおいては、これらの個性的な生活環境をより良好なものとし、培われてきたふるさとの生活文化を継承するとともに、地域の魅力として発信するなど、積極的な活用を図っていきます。

< 景観まちづくりの基本理念・目標 >

本市総合計画が掲げるまちづくりの基本理念や将来像に、景観法や山口県景観ビジョンの基本理念等を加味することによって、景観まちづくりに求められる方向性を明らかにし、これを踏まえたうえで、本市らしい景観まちづくりを進めるうえでの基本理念や目標を次のように定めます。



4 - 2 景観まちづくりの基本方針

景観まちづくりの基本理念・目標を展開するため、地域の景観の特性や抱える課題を踏まえて、以下の基本方針により景観まちづくりを展開していきます。

(1) 「市民と事業者、行政の協働による景観まちづくり」に向けて

市民、事業者、行政の連携による、多様な主体が関わる景観まちづくりを推進します。

市民、事業者、行政の連携により、多様な主体の関わりの中で、市民共有の資産である下関市の魅力ある景観を守り、創り、育む、景観まちづくりを推進します。

- 具体的な展開の方向性
 - ・多様な主体が連携した景観まちづくりの目標・体制づくり
 - ・市民の景観まちづくりへの意識醸成
 - ・景観まちづくりに係る市民活動の活性化・人材の育成
 - ・景観まちづくりの取り組みの支援

(2) 「下関市を包み込む豊かな自然を育む景観まちづくり」に向けて

下関市を象徴する海への眺めを守り、育み、交流の中で海との関わりを深めていきます。

海への眺望は、市民の誇り、心のふるさととなる景観であるとともに、見る者を魅了し重要な下関市の観光資源となっています。

下関市を象徴する周防灘、響灘、関門海峡への眺めを守り、それらの異なる表情を楽しむ魅力を感じられる景観まちづくりを進めます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・海岸沿いの眺めを阻害する建築物等の適切な誘導
 - ・眺めの良好な視点場の確保・眺めの保全
 - ・海峡、海岸部の景観保全と修景
 - ・関門海峡における拠点景観の形成

海岸線・幹線道路を軸とした、地域の魅力のネットワーク化を図ります

市内を取り囲む長い海岸線および幹線道路からの海への眺めや夕日などの自然景観を保全するとともに、これらを広域的な地域連携の軸として、各地域の魅力を結び交流の拡大に活用していきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・連続した海への眺望を確保するための屋外広告物等の景観誘導
 - ・海の風景をテーマにした豊かな交流と地域コミュニティの再生
 - ・ウォーキングやサイクリングのネットワーク形成

景観のまとめりと豊かな表情をつくる山並みの緑を守り、育てていきます

下関市の緑豊かな山並みや身近な里山、森林は、都市や人々のくらしや海からの眺めの背景となり、四季折々の変化に富んだ表情をつくり出しています。

これらの豊かな山並みの緑を守り、育てていくとともに、原風景としての里山の保全・活用と管理強化により森林景観の形成に努めます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・シンボルとなる山並みの保全
 - ・市街地や田園景観の背景となる緑の保全
 - ・斜面緑地景観の保全と修復
 - ・里山の管理強化

優れた美しい自然の風景地を守り、人々が親しむ交流の場としての魅力を高めます

角島や豊田湖などの自然地は、その豊かな自然から多くの人々を引きつける魅力ある景勝地です。

これらの優れた美しい自然の風景を保全するとともに、自然とのふれあいの場として活用していきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・自然公園区域での建築物・広告物等の適切な誘導
 - ・観光客等への景観保全に関する意識啓発

多様な生物の生息地となる貴重な水辺環境を守り、人々の生活に潤いを与える水辺景観を創出します

木屋川や栗野川に代表される水辺地は、ホタルなどの貴重な生息地であるとともに、水源地や青海苔採りなどの場として人々の生活と深い関わりのある景観です。

これらの貴重な水辺環境を整備・保全するとともに、人と自然がふれあえる水辺景観を創出します。

- 具体的な展開の方向性
 - ・水辺景観の保全・整備
 - ・多様な生物の生息・生育する水辺環境の保全

(3)「地域固有の歴史を見つめ、郷土を愛する心を育てる景観まちづくり」
に向けて

郷土に伝わる歴史的・文化的資産等を保全・継承するとともに、周辺環境との調和を図り魅力を高めます

市内には綾羅木郷や土井ヶ浜などの遺跡、城下町長府の街並み、各地に点在する近代化建築物など、本市の歴史を物語る、歴史的、文化的に貴重な資産が数多く残っています。

こうした郷土の歴史に対する理解を深め、後世へ守り伝え、貴重な景観資源としてより一層の活用を図ります。

- 具体的な展開の方向性
 - ・歴史的・文化的遺産等の保全、整備
 - ・歴史的なまちなみへの修景、配慮
 - ・周辺建築物の景観的な調和と誘導
 - ・回遊性向上のための方策

海峡が培ってきた厚みのある歴史を、海峡の魅力として引き立たせていきます

関門海峡一帯には、満珠・干珠や巖流島等の歴史に登場する自然環境や唐戸の近代化建築物など様々な歴史的資源が存在しています。

こうした海峡が培ってきた歴史を、海峡の魅力として活用していきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・歴史的・文化的遺産等の保全・活用
 - ・資源周辺の調和のとれた景観誘導
 - ・ライトアップ等の効果的な演出

(4)「次代の先駆けとなる美しく活力ある海峡都市の景観まちづくり」に向けて

人々の交流と都市活動の場にふさわしい、風格と賑わいのある都市景観を創造します

本市の市街地は、海や陸を結ぶ広域的な交通の要衝であり、また、港湾、水産・商工業・観光の拠点やアジアに開かれた国際都市として様々な側面を持っています。

こうした人々の交流と都市活動など、多様な役割を担う本市の都市拠点にふさわしい、風格と賑わいのある都市景観づくりを進めていきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・美しく活力ある都市景観形成の推進
 - ・経済活動や土地利用規制と調和した景観誘導
 - ・関門景観としてのトータルコーディネート（北九州市と連携した関門景観形成の推進）
 - ・眼前を行き交う船舶や港湾施設等で構成される躍動感ある関門景観の演出
 - ・個性と賑わいのある商業、業務地区の景観形成
 - ・わかりやすい都市サインの整備

海峡を縁取る都市の水際の景観の魅力を高めます

関門海峡の水際は、港湾施設を中心とした海峡の力強さや、商業施設や文化施設などの都市の活力が感じられる空間が続いており、多くの人々を集めています。

こうした海峡の水際の魅力を高め、ウォーターフロントの交流拠点としての景観形成を図ります。

- 具体的な展開の方向性
 - ・水辺のオープンスペースとなる公共空間の景観形成
 - ・海を意識した景観誘導（海への親水性確保や眺望の保全）

人々の交流軸としての幹線道路沿道の快適で潤いのある沿道景観を創出します

本市では、中国自動車道や国道、県道等により市内はもとより、県内、九州地方との広域交通網が形成されており、これらが都市の骨格を形成するとともに、経済活動や市民生活にとって重要な役割を担っています。

また、道路は地域ごとの特色ある景観を楽しむ視点場でもあるため、人々の交流軸として快適で潤いのある沿道景観の形成を図ります。

- 具体的な展開の方向性
 - ・沿道建築物・広告物等の景観誘導
 - ・緑による潤いのある沿道景観の形成
 - ・資源を結びつけるネットワークの形成
 - ・安全で快適な道路空間の整備

都市の新たな魅力となる、夜間景観を演出します

関門橋や歴史的建造物のライトアップをはじめ、関門海峡兩岸に連なるまちのあかりや行き交う船のあかりなどが、関門景観の魅力の一つとなっています。

このため、対岸からの見え方やパノラマとしての全体的な構図に配慮したうえで、昼間とは違う新たな都市の魅力となる夜間景観を演出します。

- 具体的な展開の方向性
 - ・テーマ性や連続性のある夜間景観の演出

(5)「良好な生活環境の中で、ふるさとの魅力を発信できる景観まちづくり」
に向けて

うるおいとやすらぎを感じる快適な生活環境の景観を整えます

市民のくらしの場となる住宅地や集落においては、緑が身近にあり、うるおいとやすらぎの感じられる快適な生活環境を、市民の積極的な参加の中で整えていきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・良好な街並みを形成するための誘導方策
 - ・郊外の住宅地の土地利用の整序
 - ・住宅地における緑化の推進
 - ・市民に親しまれる公園等の憩いの空間の確保
 - ・安全性や利便性の確保（バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進）

地域の誇りと活性化に繋がる、市民の心に残る伝統的行事や年中行事等を守り、育んでいきます

市内各地では、人々の心に残る祭りや神社等に伝わる伝統的行事、特色ある年中行事などが営まれており、これらが四季折々の風景に彩りを添えています。

これらの市民の心に残る伝統的行事や年中行事等を保存、継承するとともに、それらが営まれる場所の歴史や地域性を育み、地域の誇りと活性化に繋げていきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・地域の個性ある伝統行事等の保存、継承
 - ・歴史や地域性が感じられる場所の景観保全
 - ・歴史の伝承や市民の一体感の醸成

人々の営みが培ってきた、農山漁村の景観を守り、都市との交流の中で活かします

下関市には、自然の中で営まれてきた農業の景観や、海岸線に沿って点在する漁港・漁村の風景など、昔からの人々の営みの中で培ってきた良好な景観があります。

これらの農山漁村の景観を守り、都市との交流の中で積極的に活用していきます。

- 具体的な展開の方向性
 - ・ふるさとも感じる田園景観の保全
 - ・幹線道路沿道での建築物や広告物の景観誘導
 - ・交流促進のための農山漁村の景観資源活用
 - ・特産品を活用した賑わいのある景観形成